

## 特別プログラム

### 学会長講演

10月23日（水） 10:15～10:50 第1会場（高知市文化プラザかるぽーと 1階 大ホール）

#### 実践と研究との協働を深化させるマインドとコンピテンシー

座長：今中 雄一（第79回日本公衆衛生学会総会会長）  
演者：安田 誠史（第78回日本公衆衛生学会総会会長）

### 特別講演

10月23日（水） 9:00～9:40 第1会場（高知市文化プラザかるぽーと 1階 大ホール）

#### 日本一の健康長寿県構想について

座長：磯 博康（大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学）  
演者：尾崎 正直（高知県知事）

### 教育講演1

10月23日（水） 17:00～17:50 第3会場（高知新聞放送会館 7階 高新文化ホール）

#### 新生児・乳幼児の難聴（きこえ）と地域での保健活動

座長：山崎 嘉久（あいち小児保健医療総合センター保健センター）  
演者：福永 一郎（高知県安芸福祉保健所）

### 教育講演2

10月23日（水） 17:00～17:50 第4会場（高知会館 3階 飛鳥）

#### 健康寿命延伸に向けたナショナルセンターの疾患横断的研究連携

座長：玉腰 暁子（北海道大学大学院医学研究院社会医学分野公衆衛生学教室）  
演者：井上真奈美（国立がん研究センター社会と健康研究センター予防研究部）

### 教育講演3

10月24日（木） 8:50～9:40 第6会場（ホテル日航高知旭ロイヤル 2階 あけぼの）

#### 日本人の食事摂取基準（2020年版）：公衆衛生はどう活用すべきか？

座長：安村 誠司（福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座）  
演者：佐々木 敏（東京大学大学院医学系研究科社会予防疫学分野）

### 教育講演4

10月24日（木） 15:00～15:50 第2会場（高知市文化プラザかるぽーと 2階 小ホール）

#### オーラルフレイル研究の現状と展望

座長：下光 輝一（公益財団法人健康・体力づくり事業財団）  
演者：渡邊 裕（北海道大学大学院歯学研究院口腔健康科学分野高齢者歯科学教室）  
協賛：公益財団法人健康・体力づくり事業財団、株式会社社会保険研究所、  
NPO 法人日本健康運動指導士会、株式会社ルネサンス

## シンポジウム1

10月23日（水） 10:55～12:25 第1会場（高知市文化プラザかるぽーと 1階 大ホール）

### 高知から考える南海トラフ地震等広域災害への備え

座長：安村 誠司（福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座）  
奥田 博子（国立保健医療科学院健康危機管理研究部）

演者：東日本大震災後の地域健康課題と今後想定される広域災害における課題  
坂田 清美（岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座）

南海トラフ地震に立ち向かう高知県の挑戦  
森本 順也（高知県危機管理部南海トラフ地震対策課）

市町村による南海トラフ地震発生時の公衆衛生活動に向けた受援体制整備  
宗石こずゑ（香美市役所）

大規模広域災害時の公衆衛生～DHEATに求められる役割～  
木脇 弘二（熊本県菊池保健所）

## シンポジウム2

10月23日（水） 10:50～12:20 第2会場（高知市文化プラザかるぽーと 2階 小ホール）

### 地域が連携し行う 子どもたちの「生きる力」を育む教育

座長：家保 英隆（高知県健康政策部）  
渡會 睦子（東京医療保健大学、住民とともに活動する保健師の会）

演者：これからの学校保健で取り組む性に関する指導（自分を大切にできる心を育む教育）  
廣田 志保（高知県教育委員会事務局保健体育課）

これまでの取り組みを振り返り「つながる」ための課題、取り組みについて  
関 正節（高知県看護協会）

9市町村協働実践による「生きる力を育む生（性）教育」を用いた公衆衛生看護活動  
西岡 律（高知県中芸広域連合保健福祉課）

厳しい環境下にある子どもたちの生きる力を育むために必要な性教育とは  
篠原 志津（社会福祉法人同朋会児童養護施設さくら園）

## シンポジウム3

10月23日（水） 10:50～12:20 第3会場（高知新聞放送会館 7階 高新文化ホール）

### 健康経営の効果と普及策

座長：津下 一代（あいち健康の森健康科学総合センター）  
仁賀 建夫（経済産業省ヘルスケア産業課）

演者：中小企業と地域における健康経営の課題  
井出 博生（東京大学）

大分県における地域・職域連携の推進  
藤内 修二（大分県福祉保健部健康づくり支援課）

協会けんぽ高知支部における健康経営の普及策（「高知家」健康企業宣言事業）  
戸梶 靖男（全国健康保険協会高知支部）

健康経営へのチャレンジと課題への対応  
中越 吉彦（株式会社高知電子計算センター）

#### シンポジウム4

10月23日（水） 10:50～12:20 第4会場（高知会館 3階 飛鳥）

#### 薬機法改正と公衆衛生における今後の薬剤師の役割～持続可能な社会保障のために～

座長：川崎 直人（近畿大学薬学部医療薬学科公衆衛生学）  
多根井重晴（日本薬科大学実践社会薬学）

演者：医療的社会資源としての薬局・薬剤師とは一薬局・薬剤師がかわれば地域医療が変わる～  
狭間 研至（一般社団法人日本在宅薬学会）

薬剤師職能と薬局機能の強化・見える化・連携～高知県薬剤師会との協働事業より～  
浅野 圭二（高知県健康政策部医事薬務課）

高知家おくすりプロジェクトの導入と多職種連携の重要性～薬の専門家である薬剤師の役割～  
大久保紗世子（ベル薬局伊野店）

薬局薬剤師に求められる新しい役割～患者治療支援から生活支援を含めた役割への変化～  
阿部 真也（株式会社ツルハHD）

#### シンポジウム5（市民公開シンポジウム）

10月23日（水） 13:40～15:30 第1会場（高知市文化プラザかるぽーと 1階 大ホール）

#### いきいき百歳体操～住民主体の介護予防は、地域包括ケアを育む土壌～

座長：柳 尚夫（兵庫県豊岡保健所）  
堀川 俊一（高知市保健所前所長）

演者：いきいき百歳体操を通じた地域づくり  
齋藤 真理（東松島市役所高齢障害支援課）

いきいき100歳体操「身軽・気軽・手軽」の魅力について  
田中 明美（生駒市役所福祉健康部）

熊本県における介護予防の取組  
楠田 美佳（熊本県健康福祉部長寿社会局認知症対策・地域ケア推進課）

住んじよってよかった！と思える地域づくりを目指す  
大村 育子（NPO いきいき百歳応援団）

シンポジウム6

10月23日（水） 13:40～15:10 第3会場（高知新聞放送会館 7階 高新文化ホール）

モニタリングレポート委員会による「賛否の分かれる公衆衛生対策に関するディベート」

座長：尾崎 米厚（鳥取大学医学部環境予防医学分野）

演者：Eスポーツ①

弓屋 結（福島県立医科大学健康増進センター）

Eスポーツ②

伊藤 慎也（北里大学看護学部看護システム学）

加熱式タバコ①

高橋美保子（埼玉医科大学医学部社会医学）

加熱式タバコ②

吉田 都美（京都大学大学院医学研究科社会健康医学専攻薬剤疫学）

指定発言：高額薬剤①

郡山 千早（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科疫学予防医学）

高額薬剤②

坂野 晶司（東京都北区健康福祉部）

シンポジウム7

10月23日（水） 13:40～15:10 第4会場（高知会館 3階 飛鳥）

フィンランドのネウボラから学ぶ児童虐待予防の方策と親子保健の再構築

座長：中島 正夫（椋山女学園大学教育学部）

播本雅津子（名寄市立大学保健福祉学部看護学科）

演者：大阪市版ネウボラにおける担当保健師の継続支援と家族支援の基盤づくり

横山 美江（大阪市立大学大学院看護学研究科）

フィンランドのネウボラをモデルとした母子保健システムの再構築

西巻 俊英（中頓別町保健福祉課保健福祉グループ）

Violence prevention among children and activity of public health nurses

Tuovi Hakulinen（National Institute for Health and Welfare, Finland）

シンポジウム8 (地方衛生研究所研修フォーラム)

10月23日 (水) 13:40~15:10 第6会場 (ホテル日航高知旭ロイヤル 2階 あけぼの)

マスギャザリングにおける感染症危機管理

座長：四宮 博人 (愛媛県立衛生環境研究所)  
調 恒明 (山口県環境保健センター)

演者：グローバル時代の感染症対策

忽那 賢志 (国立国際医療研究センター国際感染症センター国際感染症対策室)

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた地衛研としての取り組み  
貞升 健志 (東京都健康安全研究センター微生物部)

マスギャザリングと感染症サーベイランス

松井 珠乃 (国立感染症研究所感染症疫学センター)

マスギャザリングにおける感染症行政

加藤 拓馬 (厚生労働省健康局結核感染症課)

シンポジウム9

10月23日 (水) 15:20~16:50 第3会場 (高知新聞放送会館 7階 高新文化ホール)

受動喫煙防止 - 改正健康増進法の実効性を高めるために

座長：中村 正和 (公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター)  
姜 英 (産業医科大学産業生態科学研究所健康開発科学研究室)

演者：たばこ規制のインパクト評価からみた課題

中村 正和 (公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター)

改正健康増進法と東京都条例 - 受動喫煙防止の法的強化の課題

岡本 光樹 (東京都議会議員・弁護士)

喫煙専用室や屋外喫煙所の設置をめぐる社会の動きと技術的課題

大和 浩 (産業医科大学産業生態科学研究所健康開発科学研究室)

受動喫煙対策における加熱式たばこの規制の現状と今後の課題

田淵 貴大 (大阪国際がんセンターがん対策センター疫学統計部)

指定発言：樺田 尚樹 (産業医科大学産業保健学部産業・地域看護学講座)

## シンポジウム10

10月23日（水） 15:20～16:50 第4会場（高知会館 3階 飛鳥）

### 地方自治体のヘルスケア分野における EBPM 実現を目指して～課題の構造化と組織内連携～

座長：大久保一郎（横浜市衛生研究所）  
鈴木 幸雄（横浜市医療局がん疾病対策課、横浜市立大学産婦人科）

演者：EBPM を実現するために必要な考え方 ～政策を科学する～  
鈴木 幸雄（横浜市医療局がん疾病対策課、横浜市立大学産婦人科）

横浜市が進める医療ビッグデータ活用の実際 ～地方自治体が EBPM に取り組むには～  
堂前 壮史（横浜市医療局医療政策課）

データヘルス施策の構造化に向けたプロセスー静岡県の市町データヘルス計画支援の取組ー  
土屋 厚子（静岡県健康福祉部医療健康局）

保健事業と介護予防の一体的実施に向けたデータ分析と庁内外連携の取組と課題  
夏原 善治（東近江市健康福祉部）

## シンポジウム11

10月23日（水） 15:20～16:50 第6会場（ホテル日航高知旭ロイヤル 2階 あげぼの）

### 障がい者のヘルスプロモーションー誰一人取り残さない地域づくり

座長：岩室 紳也（ヘルスプロモーション推進センター）

演者：障がい者の理解 健理学の見地から  
星 且二（首都大学東京名誉教授）

障がい者のヘルスプロモーションー誰一人取り残さない地域づくり  
丸谷 美紀（国立保健医療科学院）

セルフマネジメント教育を活用した、障がい者の健康づくり支援体制構築に関する提案  
橋 とも子（国立保健医療科学院）

障がい者へのセルフマネジメント支援体制ー口腔のケアからの出発  
田野 ルミ（国立保健医療科学院）

## シンポジウム12

10月23日（水） 15:40～17:10 第1会場（高知市文化プラザかるぽーと 1階 大ホール）

### 襲来が予測される震災に東日本大震災の東北3県沿岸部での公衆衛生活動と教訓を活かす

座長：渡會 睦子（東京医療保健大学医療保健学部看護学科）  
廣末 ゆか（中芸広域連合介護サービス課地域包括支援センター）

演者：震災後の福島県相双地区北部から伝えたい新しい取り組み  
米倉 一磨（相馬広域こころのケアセンターなごみ）

今後起こりうる大災害への備えとは？東日本大震災の経験からの考察  
尾無 徹（岩手県立大学看護学部）

住民と協働して策定した計画をツールとする健康づくり活動の取り組み  
佐藤奈央子（宮城県南三陸町役場）

災害マネジメントサイクルに基づく公衆衛生活動のあり方  
末永カツ子（福島県立医科大学医学研究科（災害・被ばく医療科学共同専攻））

### シンポジウム13

10月24日(木) 8:50~10:20 第1会場(高知市文化プラザかるぽーと 1階 大ホール)

#### 地域包括ケアと災害医療対策

座長：松本 良二(千葉県野田保健所(前千葉県安房保健所))  
石田久美子(茨城県潮来保健所)

演者：かかりつけ医の災害医療対策：国土強靱化(レジリエンス)への日本医師会からの提言  
石川 広己(日本医師会常任理事)

熊本地震から得た在宅医療ネットワークの重要性  
地域包括ケアシステムの構築が復興の柱  
永田 壮一(医療法人永田会東熊本病院)

精神障害にも対応した地域包括ケアから災害対策へ  
震災の教訓「障害者を取り残さない」  
吉野 智(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課)

災害リハ支援 JRAT は地域リハが基本：地域包括ケア時代、リハ専門職は災害医療の要  
栗原 正紀(大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会)

### シンポジウム14

10月24日(木) 8:50~10:20 第2会場(高知市文化プラザかるぽーと 2階 小ホール)

#### 保健師の地区担当制がめざすもの～駐在保健師制度にこだわった高知からの発信～

座長：中板 育美(武蔵野大学看護学部)  
中島 信恵(高知県健康長寿政策課)

演者：地域と共に取り組む循環器疾患対策  
伊藤祐美子(高知県香南市役所)

地域診断を活かした住民共働の健康づくりの推進～豊田市の取組から～  
柴川ゆかり(豊田市役所保健部)

県型保健所で地区担当制を導入して ～地域包括ケアシステム構築にむけて～  
黒橋真奈美(滋賀県南部健康福祉事務所(前東近江健康福祉事務所))

### シンポジウム15

10月24日(木) 8:50~10:20 第3会場(高知新聞放送会館 7階 高新文化ホール)

#### スマホ・ネット・ゲーム依存対策の最前線～公衆衛生学的アプローチ～

座長：井谷 修(日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野)  
尾崎 米厚(鳥取大学医学部環境予防医学分野)

演者：スマホ・ネット・ゲーム依存の最近の動向～公衆衛生の立場より～  
金城 文(鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野)

ゲーム障害のWHO認定までの道のりとこれから  
樋口 進(独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

ネット・スマホ依存対策における集団的介入研究の動向  
大塚雄一郎(日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野)

「ネット依存予防教育」の実践～自覚を促す効果的な手法～  
豊田 充崇(和歌山大学教育学部)

## シンポジウム16

10月24日(木) 8:50~10:20 第4会場(高知会館 3階 飛鳥)

### 地域における海外からの感染症対策—厚生労働省検疫所と自治体の連携—

座長：柏樹 悦郎(厚生労働省大阪検疫所)  
垣本 和宏(厚生労働省那覇検疫所)

演者：感染症対策における検疫所と自治体の連携  
中村 泰久(福岡県田川保健福祉事務所)

検疫所と地方自治体の実施した蚊の共同調査について  
上野 健一(厚生労働省関西空港検疫所)

東京2020大会に向けた検疫所と自治体との連携  
横塚 由美(厚生労働省東京検疫所)

地方自治体と検疫所の協力・連携に係る現状や制度上の課題及びその論点  
奥村 二郎(近畿大学医学部環境医学・行動科学教室)

## シンポジウム17

10月24日(木) 10:30~12:00 第1会場(高知市文化プラザかるぽーと 1階 大ホール)

### AI、IoT、ビッグデータを用いたこれからの公衆衛生(国立保健医療科学院企画)

座長：曾根 智史(国立保健医療科学院)  
三浦 宏子(国立保健医療科学院国際協力研究部)

演者：保健医療分野におけるリアルワールドデータの活用  
水島 洋(国立保健医療科学院研究情報支援研究センター)

保健医療・公衆衛生とデータサイエンス  
市川 学(芝浦工業大学システム理工学部)

研究データの相互活用における課題と対策  
木村 映善(国立保健医療科学院)

オープンサイエンスの現状と課題  
重茂 浩美(文部科学省科学技術・学術政策研究所科学技術予測センター)

## シンポジウム18

10月24日(木) 10:30~12:00 第2会場(高知市文化プラザかるぽーと 2階 小ホール)

### 生活困窮世帯およびその子どもへの健康支援のあり方

座長：近藤 尚己(東京大学大学院医学系研究科健康教育・社会学分野)  
黒谷 佳代(医薬基盤・健康・栄養研究所)

演者：生活困窮者への健康管理支援の考え方  
高木 大資(東京大学大学院医学系研究科)

生活困窮者の医療サービス利用の実態と医療機関への受診同行支援に関するレビュー  
西岡 大輔(東京大学大学院医学系研究科健康教育・社会学分野)

生活困窮世帯の子どもに対する支援法とその効果について：国際的知見  
上野 恵子(東京大学大学院医学系研究科社会医学専攻健康教育・社会学分野)

生活困窮世帯の子どもに対する支援活動：国内の取り組み状況とその課題  
新杉 知沙(医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所栄養疫学・食育研究部)

## シンポジウム19

10月24日(木) 10:30~12:00 第3会場(高知新聞放送会館 7階 高新文化ホール)

### 高齢者の低栄養に関する研究と地域包括ケアシステムの実践

座長：澁谷いづみ(愛知県一宮保健所)  
丸山 広達(愛媛大学大学院農学研究科)

演者：低栄養予防と地域包括ケアシステムの構築に関する事例と研究  
三浦 久幸(国立長寿医療研究センター)

日本人の食事摂取基準(2020年版)における高齢者の低栄養に関するエビデンス  
佐々木 敏(東京大学大学院医学系研究科社会予防疫学分野)

行政管理栄養士の地域包括ケアシステム構築への実践  
磯部 澄枝(新潟県新津保健所)

福井県丹南保健所における栄養管理ネットワークの構築  
新田 和美(福井県丹南健康福祉センター(福井県丹南保健所))

## シンポジウム20

10月24日(木) 10:30~12:00 第4会場(高知会館 3階 飛鳥)

### 期待される性感染症予防教育とは

座長：伊東 則彦(道立江差保健所)  
白井 千香(枚方市保健所)

演者：わが国における性感染症の現状と性感染症教育・性教育の必要性について  
安田 満(岐阜大学医学部附属病院生体支援センター)

道立紋別保健所における保健師の性教育活動～「生きるための心の教育」実践を通して～  
毛利 洋子(道立紋別保健所遠軽支所)

学校において性感染症予防教育にどう取り組むか  
野津 有司(筑波大学体育系)

性感染症予防対策だけではもったいない。より幸せな社会を作るためのツール  
稲葉 静代(岐阜県岐阜保健所)

## シンポジウム21

10月24日(木) 13:20~15:10 第1会場(高知市文化プラザかるぽーと 1階 大ホール)

### 健康なまちづくり～その概念と実践

座長：曾根 智史(国立保健医療科学院)  
福永 一郎(高知県安芸福祉保健所)

演者：健康なまちづくり：世界の潮流と日本での展開  
中村 桂子(国立大学法人東京医科歯科大学大学院国際保健医療事業開発学分野)

健康なまちづくりをめざして～地域コミュニティ活動と住民自治の醸成～  
中川 昭生(福島市保健所)

名張市のソーシャルキャピタルを醸成した地域づくり・健康づくり  
山崎 美穂(三重県名張市福祉子ども部健康・子育て支援室)

都道府県における健康なまちづくり 「ヘルシー・高知家・プロジェクト」  
中島 信恵(高知県健康長寿政策課)

## シンポジウム22

10月24日（木） 13:20～14:50 第6会場（ホテル日航高知旭ロイヤル 2階 あげぼの）

### 全国がん登録から考える日本のがんの現状と対策

座長：猿木 信裕（群馬県衛生環境研究所）  
大木いずみ（地方独立行政法人栃木県立がんセンター）

演者：全国がん登録の結果と展望  
松田 智大（国立がん研究センターがん対策情報センター）

青森県からの報告～がん死亡率が最も高い県の現状～  
松坂 方士（弘前大学医学部附属病院医療情報部）

神奈川県からの報告～都市型地域のがんの現状～  
片山佳代子（神奈川県立がんセンター臨床研究所がん予防・情報学部）

Application of National Cancer Registry Data in Taiwan  
Chun-Ju Chiang（Institute of Epidemiology and Preventive Medicine, College of Public Health, National Taiwan University, and Taiwan Cancer Registry, Taipei, Taiwan）

## シンポジウム23

10月24日（木） 15:00～16:30 第6会場（ホテル日航高知旭ロイヤル 2階 あげぼの）

### 根拠に基づく公衆衛生政策（EBPM）の具体的事例とノウハウ（学術行政連携検討委員会）

座長：鶴田 憲一（静岡県）  
尾島 俊之（浜松医科大学健康社会医学講座）

演者：都道府県行政と公衆衛生学会の連携について（鹿児島県の場合）  
中俣 和幸（鹿児島県くらし保健福祉部）

災害対応における学術への期待  
田中 剛（広島県健康福祉局）

大学による行政の調査研究の支援  
牧野 伸子（自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門）

行政と連携したエビデンスづくり  
尾島 俊之（浜松医科大学健康社会医学講座）

## シンポジウム24

10月24日（木） 15:20～16:50 第1会場（高知市文化プラザかるぽーと 1階 大ホール）

### 健やか親子21（第2次）中間評価と成育基本法

座長：山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）  
佐藤 拓代（大阪府立病院機構大阪母子医療センター母子保健情報センター）

演者：健やか親子21（第2次）の今後展開と成育基本法  
小林 秀幸（厚生労働省子ども家庭局）

乳幼児期の指標：値の推移と今後の課題  
上原 里程（京都府立医科大学地域保健医療疫学）

育てにくさへの支援と妊娠期からの児童虐待予防の指標  
山崎 嘉久（あいち小児保健医療総合センター）

学校保健の指標  
松浦 賢長（福岡県立大学看護学部）

## シンポジウム25

10月24日(木) 16:00~17:30 第2会場(高知市文化プラザかるぽーと 2階 小ホール)

### オーラルフレイルの予防

座長：尾崎 哲則(日本大学歯学部医療人間科学分野)  
増田 和茂(公益財団法人健康・体力づくり事業財団)

演者：高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について  
平野 真紀(厚生労働省保険局高齢者医療課)

オーラルフレイル、口腔の視点から  
佐藤 保(日本歯科医師会)

健康運動指導士が提案する全身運動を取り入れたオーラルフレイル予防運動について  
芝崎 美幸(健康運動指導研究所 FITPLUS)

地域高齢者における予防的対応の取り組みとしての咬合カアップ運動の効果  
前田佳予子(武庫川女子大学生生活環境学部食物栄養学科)

協賛：公益財団法人健康・体力づくり事業財団、株式会社社会保険研究所、  
NPO 法人日本健康運動指導士会、株式会社ルネサンス

## シンポジウム26

10月25日(金) 8:50~10:20 第1会場(高知市文化プラザかるぽーと 1階 大ホール)

### OECD 諸国と比較したわが国の健診・検診の課題と対策

座長：中山 富雄(国立がん研究センター社会と健康研究センター)  
高橋 宏和(国立がん研究センター社会と健康研究センター)

演者：OECD からみた日本の公衆衛生の課題  
藤澤 理恵(経済開発協力機構(OECD)雇用労働社会問題局医療課)

自治体における健診・検診の課題  
町井 涼子(国立がん研究センターがん対策情報センター)

東京都における対策型検診の現状と対策  
長嶺 路子(東京都福祉保健局保健政策部健康推進課)

職域における健診・検診の現状と課題  
渋谷 克彦(帝京大学大学院公衆衛生学研究科)

## シンポジウム27

10月25日(金) 8:50~10:20 第2会場(高知市文化プラザかるぽーと 2階 小ホール)

### 国際化する地域：求められる保健所のグローバル化対応能力

座長：劔 陽子(熊本県人吉保健所)  
渡邊 洋子(東京都多摩立川保健所)

演者：結核対策における保健所の外国人对応の実際  
古橋 完美(愛知県一宮保健所)

東京2020大会に向けて一競技場を抱える保健所の取り組み  
村上邦仁子(東京都多摩府中保健所)

日本の地域保健の経験からグローバルヘルスへの貢献の可能性  
四方 啓裕(福井県福井保健所)

国際的視野から見た公衆衛生行政人材の育成について  
曾根 智史(国立保健医療科学院)

## シンポジウム28

10月25日（金） 8:50～10:20 第3会場（高知新聞放送会館 7階 高新文化ホール）

### 地域歯科保健推進のための新たなう蝕予防戦略

座長：尾崎 哲則（日本大学歯学部医療人間科学分野）  
福田 英輝（国立保健医療科学院）

演者：歯科口腔保健の推進に関する基本的事項・中間評価に基づく今後のう蝕予防対策  
三浦 宏子（国立保健医療科学院国際協力研究部）

日本の未処置う蝕保有者は4000万人：健康格差縮の対策  
相田 潤（東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野）

学校保健活動におけるう蝕予防の現状と課題  
野村 圭介（高知県歯科医師会）

自治体担当者が地域のう蝕予防戦略を考える上で必要な視点  
秋野 憲一（札幌市保健福祉局保健所）

## シンポジウム29

10月25日（金） 8:50～10:20 第4会場（高知会館 3階 飛鳥）

### 子どもとインターネット依存 モニタリングレポート委員会 親子保健・学校保健グループ

座長：関根 道和（富山大学）  
鈴木 孝太（愛知医科大学）

演者：子どもとインターネット依存  
関根 道和（富山大学）

小中学生のインターネット依存：甲州市思春期調査での結果から  
佐藤 美理（山梨大学大学院総合研究部社会医学講座）

乳幼児のインターネット利用をめぐる諸問題  
加藤 則子（十文字学園女子大学幼児教育学科）

子ども・子育て家族とインターネット利用をめぐる課題への対応について  
北野 尚美（和歌山県立医科大学地域・国際貢献推進本部地域医療支援センター）

## シンポジウム30

10月25日（金） 10:30～12:00 第1会場（高知市文化プラザかるぽーと 1階 大ホール）

### メンタルヘルス対策：職域と地域の連携のギャップを埋めるために

座長：野村 恭子（秋田大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座）  
堤 明純（北里大学医学部公衆衛生学単位）

演者：職域と地域の連携ギャップ削減のための医師会と嘱託産業医の取り組み  
森口 次郎（京都工場保健会）

社会保険労務士・精神保健福祉士による企業のメンタルヘルス対策と地域連携モデル  
脊尾 大雅（秋葉原社会保険労務士事務所）

産業保健総合支援センターを核にした地域専門医療機関との連携  
廣川 空美（大阪産業保健総合支援センター）

中小事業所を対象とした地域・職域連携推進連絡会による実践  
野村 洋子（相模原市保健所健康増進課）

### シンポジウム31

10月25日（金） 10:30～12:00 第2会場（高知市文化プラザかるぽーと 2階 小ホール）

#### 多文化に対応できる公衆衛生専門家を目指して

座長：和田 耕治（国際医療福祉大学医学部公衆衛生学）  
高山 義浩（沖縄県立中部病院）

演者：医療機関における外国人患者受入れ体制整備  
二見 茜（東京医科歯科大学医学部附属病院）

日本における外国人居住者の健康危機管理と看護教育  
神原 咲子（高知県立大学看護学研究科）

地域医療における多文化対応  
富田 茂（高田馬場さくらクリニック）

外国人当事者が日本で生活する上で困ること  
カブレホス セサル（ランゲージワン株式会社）

### シンポジウム32

10月25日（金） 10:30～12:00 第3会場（高知新聞放送会館 7階 高新文化ホール）

#### 休養／睡眠の公衆衛生～実践と研究との協働の深化～

座長：井谷 修（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野）

演者：我が国における休養・睡眠の疫学  
井谷 修（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野）

産業精神医学の立場からみた睡眠と健康  
田中 克俊（北里大学大学院産業精神保健学）

睡眠公衆衛生からみた睡眠尺度を用いた睡眠の評価  
松本 悠貴（国立国際医療研究センター臨床研究センター疫学・予防研究部）

社会的ジェットラグの実態と心身の健康に及ぼす影響  
駒田 陽子（明治薬科大学リベラルアーツ）

### シンポジウム33

10月25日（金） 10:30～12:00 第4会場（高知会館 3階 飛鳥）

#### 社会に役立つ公衆衛生実務家教育の実践を目指して

座長：中山 健夫（京都大学大学院医学研究科）  
川上 憲人（東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野）

演者：日本版 MPH コンピテンシーモデル作成経緯と公開ー目指すべき MPH 教育の姿ー  
井上まり子（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）

コンピテンシー基盤型教育による MPH 教育を受けた産業医の卒後の問題解決  
宋 裕姫（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）

公衆衛生を学ぶ姿勢を問う；東大 SPH での試み  
橋本 英樹（東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻）

ケースメソッドによる討論型授業を中心とした MPH コンピテンシー教育の試み  
武林 亨（慶應義塾大学健康マネジメント研究科、医学部・医学研究科）

### ミニシンポジウム1

10月24日（木） 10:45～12:00 第6会場（ホテル日航高知旭ロイヤル 2階 あげぼの）

#### 高齢者支援と子ども・子育て支援における地域多世代型アプローチは可能か？

座長：藤原 佳典（東京都健康長寿医療センター研究所）  
福島富士子（東邦大学看護学部）

演者：産官民の協働による特徴的な通いの場の立ち上げと運営の手法  
服部 真治（一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会）

多世代交流を促すコーディネーターなど人材育成手法  
倉岡 正高（東京都健康長寿医療センター研究所）

住民間の緩やかな助け合いを促す多世代交流拠点とプログラムの運営手法  
野中久美子（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）

ソーシャルビジネスとしての多世代交流と助け合いの実践例と今後の可能性  
内海千津子（株式会社ほっこりーのプラス）

### ミニシンポジウム2

10月24日（木） 13:20～14:35 第3会場（高知新聞放送会館 7階 高新文化ホール）

#### 地域共生社会に向けた「保健活動」の展開

座長：大澤 絵里（国立保健医療科学院国際協力研究部）  
藤原 佳典（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）

演者：「包括的支援体制構築に向けた保健センターと他分野の連携に関する研究」でみえたこと  
村山 洋史（東京大学高齢社会総合研究機構）

包括的相談支援体制の構築にむけて機能する市町村保健師の技術に関する検討  
中板 育美（武蔵野大学）

地域共生社会に向けた職種間・分野間連携における事務系管理職トップとしての戦略  
溝口 正夫（京都市左京区役所保健福祉センター）

### ミニシンポジウム3

10月24日（木） 13:20～14:35 第4会場（高知会館 3階 飛鳥）

#### 子宮頸がんワクチンの再開に向けたエビデンスの確認と戦術

座長：田中 英夫（大阪府藤井寺保健所）  
上田 豊（大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学）

演者：国内外の子宮頸がんの罹患・死亡の現状：検診・ワクチン・格差の視点から  
伊藤 ゆり（大阪医科大学研究支援センター医療統計室）

HPV ワクチンの有効性と積極的勧奨一時差し控え継続の弊害  
上田 豊（大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学）

子宮頸がんワクチンの有害事象に関する疫学研究—名古屋スタディと文献検索  
鈴木 貞夫（名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野）

HPV ワクチンに関するリスクベネフィットコミュニケーション  
福吉 潤（キャンサースキャン）

#### ミニシンポジウム4

10月24日（木） 14:45～16:00 第3会場（高知新聞放送会館 7階 高新文化ホール）

#### 人生100年時代の地域包括エンパワメント戦略

座長：安梅 勅江（筑波大学医学医療系国際発達ケア：エンパワメント科学研究室）

演者：継続的予防リハと地域包括エンパワメント

奥村 理加（飛島村役場）

多世代支援融合と地域包括エンパワメントー多世代交流を活かした生涯健康支援ー  
篠原 亮次（山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター）

住民のつながり強化と地域包括エンパワメント

杉澤 悠圭（つくば国際大学医療保健学部看護学科公衆衛生看護学）

共生社会の実現に向けて～障害者主体の地域包括エンパワメント～

酒寄 学（社会福祉法人芳香会社会福祉研究所）

#### ミニシンポジウム5

10月24日（木） 14:45～16:00 第4会場（高知会館 3階 飛鳥）

#### 産学官協働で地域強靱化を目指す危機管理システムのマインドとコンピテンシー

座長：古屋 好美（甲府市保健所）

中瀬 克己（吉備国際大学）

演者：地域包括ケアシステムと災害対応を考える：人的社会資源の最大化

長谷川 学（環境省環境保健部石綿健康被害対策室）

地域包括ケアシステムと「ごちゃまぜ災害対応」人材

小坂 健（東北大学災害科学国際研究所）

災害産業保健の先進例における人材とは

久保 達彦（産業医科大学産業生態科学研究所環境疫学）

医療機関における緊急事態マネジメントシステムの導入・運用に求められる人材とは

富尾 淳（東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学）

#### ミニシンポジウム6

10月24日（木） 16:10～17:25 第3会場（高知新聞放送会館 7階 高新文化ホール）

#### 自治体・住民と取り組む地域参加型研究（CBPR）

座長：近藤 克則（千葉大学予防医学センター）

村田千代栄（国立長寿医療研究センター老年社会科学研究部）

演者：武豊町プロジェクト10年間の成果

平井 寛（山梨大学大学院総合研究部）

武豊町住民ボランティア育成におけるデータ活用例

竹田 徳則（星城大学リハビリテーション学部）

コミュニティ参加型研究（CBPR）によるサロン立ち上げ支援

村田千代栄（国立長寿医療研究センター老年社会科学研究部）

愛知県常滑市での高齢者の社会参加による介護予防効果評価の試み

斉藤 雅茂（日本福祉大学社会福祉学部）

**健康的な食事・食物へのアクセスの改善－食環境整備における行政管理栄養士の役割**

座長：武見ゆかり（女子栄養大学栄養学部食生態学研究室）  
由田 克士（大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座公衆栄養学）

演者：福井県における食環境整備について ～「ふくい健幸美食」認証事業～  
谷口 孝子（福井県健康福祉部健康政策課）

地域における「健康な食事・食環境認証制度」を活用した生活習慣病予防対策  
久保 彰子（熊本県県南広域本部芦北地域振興局）

インセンティブ等を用いた食選択支援の可能性と課題：足立区の事業評価の事例より  
近藤 尚己（東京大学大学院医学系研究科健康教育・社会学分野）

**奨励賞受賞講演**

座長：安田 誠史（高知大学教育研究部医療学系）

演者：東日本大震災および福島第一原子力発電所事故による復興期におけるポジティブ要因に着目した自殺対策の実践  
大類 真嗣（福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座）

地域包括ケアシステムにおける在宅医療の推進と住民ボランティアとの協働  
田口 敦子（東北大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学分野）

循環器疾患危険因子に関する研究と予防活動への実践応用  
月野木ルミ（日本赤十字看護大学地域看護学領域）

広域災害時における公衆衛生支援体制に関する実践的研究活動  
池田 和功（和歌山県新宮保健所）

座長：安田 誠史（高知大学教育研究部医療学系）

演者：母体喫煙と受動喫煙がアレルギー疾患に与える影響：神戸市母子保健情報による疫学研究  
吉田 都美（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻薬剤疫学分野）

湿疹と子どもの精神状態、行動発達の関連の検討  
湊屋 街子（北海道大学保健科学研究院）

CABGにおける予防抗菌薬投与のガイドラインの推奨自体の相違と SSI 発症との関連  
慎 重虎（京都大学大学院医学研究科医療経済学分野）

肝臓癌に対する経動脈的化学塞栓術における予防的抗菌薬と肝膿瘍の関連  
吉原 真吾（奈良県立医科大学公衆衛生学講座）

怒りと関連した循環器疾患リスクの増加は定年後の就労状況で修飾される：CIRCS 研究  
手塚 一秀（大阪がん循環器病予防センター循環器病予防部門）

慢性腰痛・ひざ痛の重症化予防と住民健診におけるブリーフインタベーションの開発  
陣内 裕成（日本医科大学衛生学公衆衛生学）

高齢者の社会参加の種類別頻度と要介護認定の関連：JAGES2010-2016縦断研究  
井手 一茂（長谷川病院リハビリテーション部）

地域高齢者において情緒的孤独感は認知症発症リスク上昇に関連する：久山町研究  
柴田 舞欧（九州大学大学院医学研究院附属総合コホートセンター）

運動グループ参加が盛んな地域では、非参加者でも閉じこもりが少ない：JAGES 横断研究  
辻 大士（千葉大学予防医学センター）

2017年の山形県内での麻疹アウトブレイクにおける感染動態の再構築  
小林 鉄郎（北海道大学大学院医学研究院衛生学教室）

加湿器を原因とした老人福祉施設でのレジオネラ症集団発生事例について  
西 貴司（大分県東部保健所国東保健部）

The association of social capital with behavior problems among children in Japan  
Funakoshi Yu（Department of Global Health Promotion, Tokyo Medical and Dental University）

メチル水銀および鉛が子どものIQに及ぼす影響の検証  
龍田 希（東北大学）

## 国際参加賞受賞講演

10月23日（水） 16:30～17:45 第2会場（高知市文化プラザかるぽーと 2階 小ホール）

座長：中村 桂子（東京医科歯科大学）  
麻原きよみ（聖路加国際大学大学院）  
今中 雄一（京都大学大学院）  
曾根 智史（国立保健医療科学院）  
武見ゆかり（女子栄養大学）

演者：Associations of  $\omega$ 3 and  $\omega$ 6 intakes with IMT levels: Toon Health Study.  
Miftaahul Jannah（Laboratory of Community Health and Nutrition, Special Course of Food and Health Science Department of Bioscience, Graduate School of Agriculture, Ehime University）

Occupational Activity and Risk of Breast Cancer Incidence : The JACC Study  
Gita Nirmala Sari（OSAKA UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE SOCIAL MEDICINE DEPARTMENT PUBLIC HEALTH）

Predictors of type of health facility use among elderly in the Philippines  
Kathryn Lizbeth Lucena Siongeo（Tokyo Medical and Dental University）

Instrumental activities of daily living of the elderly in the central Viet Nam  
Tran Dai Tri Han（Department of Global Health Entrepreneurship, Division of Public Health, Graduate School of Tokyo Medical and Dental University）

Leave no one behind: some African women face difficulty in accessing healthcare  
Deogratus Bintabara（Department of Global Health Entrepreneurship, Division of Public Health, Graduate School of Tokyo Medical and Dental University）

Reducing OOP Health Payment in Afghanistan: a multiple case study  
Akbari Fatima（Kanazawa University, Graduate School of Medical Sciences）

## ランチオンセミナー1

10月23日（水） 12:30～13:30 第2会場（高知市文化プラザかるぽーと 2階 小ホール）

### ライフステージに合わせた予防接種－子どものワクチンから大人のワクチンまで－

座長：岩田 敏（国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院感染症部）  
演者：岡田 賢司（福岡看護大学基礎・基礎看護部門基礎・専門基礎分野、福岡歯科大学医科歯科総合病院予防接種センター）  
共催：一般社団法人日本ワクチン産業協会

## ランチオンセミナー2

10月24日（木） 12:10～13:10 第1会場（高知市文化プラザかるぽーと 1階 大ホール）

### 我が国における生体電磁環境に関する研究の取組み

座長：総務省

演者：「生体電磁環境研究へのお誘い」

大久保千代次（一般財団法人電気安全環境研究所電磁界情報センター、総務省「生体電磁環境に関する検討会」）

「電波の感受性に関する人ボランティア研究から得られた知見の概要」

牛山 明（国立保健医療科学院）

共催：総務省

### ランチョンセミナー3

10月24日(木) 12:10~13:10 第2会場(高知市文化プラザかるぽーと 2階 小ホール)

#### 地域の健康関連データの有効活用のために：観察研究データ収集と統計解析

座長：田宮葉奈子(筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野)

演者：自治体の生活習慣病予防対策と、保健・医療・福祉データを活用した地域疫学研究

山岸 良匡(筑波大学医学医療系社会健康医学)

医療統計アドバイス：観察研究で身につけたい技術

新谷 歩(大阪市立大学大学院医学研究科医療統計学)

共催：武田薬品工業株式会社 ジャパンメディカルオフィス

### ランチョンセミナー4

10月24日(木) 12:10~13:10 第4会場(高知会館 3階 飛鳥)

#### 未受診対策の切り札に自己採取 HPV 検査！ - 子宮頸がん征圧へ向けて -

座長：小西 宏(公益財団法人日本対がん協会がん検診研究グループ)

演者：伊藤 真理(中央大学研究開発機構、公益財団法人未来工学研究所、東京大学大学院医学系研究科)

共催：原田産業株式会社

### スポンサードセッション

10月24日(木) 13:20~14:50 第2会場(高知市文化プラザかるぽーと 2階 小ホール)

#### 脳卒中・循環器病対策基本法のポイント - 地域に求められる役割

座長：岡村 智教(慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学)

演者：脳卒中・循環器病対策基本法：基本理念と日本脳卒中協会の取り組み

峰松 一夫(国立循環器病研究センター、医療法人医誠会、公益社団法人日本脳卒中協会)

チーム医療として脳卒中・循環器病対策基本法を考える。脳の立場から

木村 和美(日本医科大学大学院医学研究科神経内科学分野)

チーム医療として脳卒中・循環器病対策基本法を考える。循環器の立場から

富山 博史(東京医科大学循環器内科)

共催：バイエル薬品株式会社